

Jazzyな駆け引き

それは軽快な掛け合いの如く

◆「VIP の設定」

今回のVIPは、人気Jazzグループのリーダー、「テルヤ」だ。
アンティーク楽器コレクターで、彼の愛用するサックスも、そのコレクションのひとつらしい。
楽曲の提供以外にも何かしらの手法で利権を蓄えているらしい。
おそらく、彼のコレクションもうまく使えば利権へと化けることだろう。

他にもメンバーや調律師なども引き連れている。中には“取引係”がいるという噂も……。

ちなみにほかの主要メンバーは「トウジ」「リキト」「コウタ」「テン」というらしい。

◆「獲得目標値」

「VIPの残り利権数」：10(智力)
「利権獲得の際の目標値」：12(智力)
「ジョーカーの表裏効果」：13(智力)
「ジョーカー獲得の際の目標値」：15(色香 or 智力)

◆「ジョーカー」

「CRT-63GS「シャルト・グレイス」」

テルヤが最も大事にしているサックス。シャルト社の超高級品らしい。
ペガサスの刻印が付いており、その美しさは音色を聴かせるまでもなく人々を魅了する。

表効果：

このジョーカーを所持している間、
能動的に交渉に成功したときに財を入手する。
財の数は所持中に交渉成立するごとに倍になっていく。
1回目は財+1だが、2回目は財+2、3回目は財+4、といった感じだ。
この効果は一度手を離れても再度入手すれば効果は継続される。

裏効果：

ゲームI終了時、このジョーカーを所持している場合、
このジョーカーによって財を得た回数分の利権を失う。
それは、このサックスに魅了され、手放せなくなってしまうからだ。

ただし、 $2d6 + \text{財入手回数}$ の数値を色香判定で超えることができれば、このサクスを売り払い、利権を財入手回数分得ることができるだろう。1度も使っていない場合は何も起こらず、所持者のコレクションになることだろう。

◆「VIPの利権」

利権数：12

推定プレイ時間：3~5時間

暴力： $2d6 + 3$

智力： $2d6 + 4$

色香： $2d6 + 5$

◆「選択ルール NPC」

居ない

◆「エンディング」

いつしか、「テルヤ」率いるジャズグループはぱったりと活動を止めた。この「街」にいる以上、コレクションがなくなるのは致し方ないこと。しかし、楽器はただでさえ高いものだ。おそらくそれらにも目を付けられたのだろう。まあ、彼の実力がそれまでだっただけのこと。駆け引きに夢中になって、腕がなまってしまったのさ。だがそんなこと、悪党どもには風のうわさにもならないだろう。どうせ、次のカモに目移りするのだから。

※ジョーカー所持者がいる場合下に続く

しかしそんな中、君が「シャルト・グレイス」を持っているという情報が行き交います。そしてその情報を手にした誰かが、君に駆け引きを持ち込んでくるだろう。彼は、そのサクスの価値に相当する利権を出してくる。しかし、君はそのサクスで得られる利益の旨味を知っている。さあ、君はどうする？

※判定成功・判定が不要な場合

君は、「シャルト・グレイス」に魅入られる間もなく、それをそのままコレクションとしてしまい込むだろう。それはただの鑑賞か、保存か、蓄えか・・・もうそれは、君のものだ。

その他追加ギミックなど：★ギミック 1

街イベント【Jazzパーティー】

条件：ジョーカーをPCが入手したサイクルの街ターン

対象：ジョーカーを所持しているPCは強制。それ以外は任意

判定：智力 or 色香

成功値：10

成功：財を $1d6$ 入手する・ジョーカーを所持しているPCは $1d6 + 3$

失敗：財を $1d3$ 失う・ジョーカーを所持しているPCはデメリットなし

解説：シャルト・グレイスに魅かれた者たちによってその場でJazzパーティーが開催される。

PCたちはそのパーティーを愉しむことができるのだろうか。

★ギミック 2

街イベント【ステージの片隅で】

条件：利権が 6 以下になったサイクル以降 1 度だけ街シーンとして発生

対象：利権を 1 以上所持している PC

判定：天運

判定値が最も低かった PC のみのイベント

(VIP 情報がない場合は発生しない)

対象の PC が名も無き NPC に「VIP 情報カード」or「財 5～10」と対象の PC の持つ「利権 1」の交渉を持ちかけられる。

見知らぬ男に声を掛けられる (セリフは一例)

「ちょっといいか？」

「俺は財 5 と「VIP 情報 (ランダムに 1 つ)」を持っている。どちらか片方をお前の持っている利権で交換しないか？」

「もちろん断ってくれてもかまわない。自力で奪いに行くのもいいだろう」

「あと、財を選ぶならおれは上乘せしてやることもかまわんぞ」※最大で 5 まで上乘せし、合計 10 まで

「悪い話じゃないだろう？」

「ああ、俺はヤツの味方じゃあない、単純にその利権に目がくらんだ、まあ、お前さんらとおなじか、もっと下のしががないピカロさ」

「俺に利権を渡したからってやつに利権が戻るわけでもない。」

「どうだ？」